

## オリバイン BPS 5296

### 1. 特徴

2 液硬化型アクリル系粘着剤です。

### 2. 性状

	主剤 < BPS 5296 >	硬化剤 < BHS 8515 >
外観	無色透明	微黄色透明
不揮発分	37.0 ± 1.0 %	37.5 ± 1.0 %
粘度	1500 ± 300 mPa·s	—
溶剤	酢酸エチル、トルエン	酢酸エチル

(粘度: B 型 #2/12min<sup>-1</sup> at 25°C)

### 3. 使用方法(例)

- 配合 : 主剤 1Kg / 硬化剤 20g
- 塗布量 : 約 20g/m<sup>2</sup> (dry)
- 乾燥 : 100°C-2min 熱風オープン
- 熟成 : 塗工後、23°C-50%RH、7days

## 4. 性能

試験項目				測定値
粘着力 [N/25mm]	23°C-50%RH	SUS	initial	6.6
			24hrs	6.9
		ガラス	initial	6.9
			24hrs	7.8
保持力 [mm/50,000sec]	40°C-1Kg	SUS		1.5
プローブタック [gf]				370
ボールタック [#]				3
耐候性 ウェザーメーター 500hrs [N/25mm]				8.8
耐水性 40°C 30min [N/25mm]				6.9
塗膜の白化性	23°C水 30min			◎
	40°C水 30min			○

### <試験作成条件>

配合 : BPS 5296 / BHS 8515 = 100 / 2.0  
 剥離紙 : 市販ポリエステルフィルムセパレーター 38μm  
 基材 : 市販ポリエステルフィルム 25μm  
 塗工 : 手塗りにて転写塗工  
 塗布量 : 約 20g/m<sup>2</sup> (dry)  
 乾燥 : 100°C-2min (熱風オープン)  
 熟成 : 塗工後 23°C-50%RH、7days

## 5. 使用上の注意事項

保存方法 : 屋内にて直射日光を注意して保存  
 取り扱い : 危険物につき火気厳禁  
 配合 : 水分混入注意

\*本資料記載データは弊社試験に基づくものでありますが、使用された場合の性能を保証するものではありません。ご使用に際しましては、ユーザー各位の使用条件で事前確認の上、ご採用いただきますようお願い申し上げます。

## 6. 一般試験方法

### <粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着後測定する。測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 300mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	: 巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	: SUS 板、ガラス板
初期	: 圧着直後に、測定する。
永久	: 圧着後、測定雰囲気内に 24 時間放置してから測定する。
測定雰囲気	: 23°C-50%RH

### <保持力>

試料を 23°C-50%RH 内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後荷重を掛け、落下する迄の秒数又は一定時間に於けるクリープ状態を表示する。

試料サイズ	: 巾 25mm × 長さ 100mm
貼着面積	: 巾 25mm × 長さ 25mm
被着体	: SUS 板
測定雰囲気	: 40°C
荷重	: 1Kg

### <ボールタック(J.DOW 法)>

傾斜角 30 度で助走 10cm 糊面 10cm の試料にスチールボール(1/32~32/32 インチ)を転がし、糊面の中央付近に停止するボールの径の番号を表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。

### <プローブタック>

プローブタックメーターを用い、荷重 20g、接触時間 1 秒、引き剥がし速度 1cm/1 秒の条件で測定し その強度をグラム単位で表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。

### <対候性>

粘着力と同様に被着体に貼り合せた後、サンシャインウェザーメーターにて 500 時間経時し、その後測定雰囲気 23°C-65%RH に戻し、粘着力の測定方法で実施する。

### <耐水性>

粘着力と同様に被着体に貼り合せた後、40°Cの温水に 30 分間浸漬し、その後測定雰囲気 23°C-65%RH に戻し、粘着力の測定方法で実施する。

### <塗膜の白化性>

粘着力と同様に被着体に貼り合せた後、23°C及び 40°Cの温水に 30 分間浸漬し、その後塗膜の白化性を観察する。